

## 校長室だより No.23

# オンライン授業は学校と家庭との協働で

2022年 2月1日 柏市立土小学校 校長 梅津 健志

連日、すくすくメールでお知らせをしていますが、オミクロン株による感染拡大の波の真っ只中にいます。2月1日現在で、学級閉鎖が2学級、その他欠席者が約80名ほどいます。今週中に学級閉鎖をしている学級は全て解除となる予定ですが、依然として予断を許さない状況です。学級閉鎖や欠席を余儀なくされている子供たちへの学習保障としてオンラインを活用した授業を行っています。今日はその実情をご理解いただき、ご協力とご支援をお願いする気持ちでたよりを書いています。

ニュース報道でも、学校で行っている授業をオンラインで中継している様子が映し出されています。ちょっと前では不可能だったことが、GIGAスクール構想のおかげで可能になりました。今後はこの仕組みをうまく利用していかなければなりません。土小学校の先生たちは、9月の緊急事態宣言下で放課後のオンラインタイムを行い、少しずつでも新しい仕組みを取り入れる準備をしようと努力を重ねてきました。その経験を活かして、先週からの土小学校緊急事態に対応をしているところです。授業の中継、オンラインでの対面式授業、デジタルドリルやクラスルームを使った感想収集等々、柏市内でもトップクラスと誇れる内容で展開していると思います。

一方で、オンラインの授業は大学生でも、一方向でコミュニケーション不足を感じたり、目の疲れや身体の疲れを感じたり、通信接続の不安定さがストレスになったり、と教室で授業を受けるよりも負荷を感じています。大学の授業は先生から学生に一方向的に話すような授業ですが、小学生にはそれが通用しません。そこで先生たちは、なんとか家庭と教室の間でやりとりのある授業をしようと心がけています。しかし、大学生でさえやりとりが難しい面があるため、小学生にオンラインでやりとりのある授業を行うのは、至難の業であることを、保護者の皆様には知っていただきたいと思います。特に難しいのは、学級で実際の授業を行いながら、オンラインでその様子の中継しながら、学級と家への二元中継型の授業です。普段の教室でも30人以上の子供の様子を把握することは難しいものです。さらにオンラインで家の子供たちをも把握することは難しく、保護者の方の力添えをいただくと助かります。先生の話す復唱したり、子供のつぶやきに応えてくださったりするだけで十分です。学級閉鎖等の場合で担任が濃厚接触等でない場合は、meetを使ってのオンライン授業を行いますが、通常の時間割のように実施することは、子供たちへの負担も大きいので、2時間程度のオンラインと自主的な学習課題の提示とさせていただきます。担任も濃厚接触等で在宅を余儀なくされる場合は、meetを使ってのオンラインはできないことをご承知おきください。

この機会に子供たちに体験しながら身に付けて欲しいことは、オンライン授業に慣れることではありません。

「自分で課題を見つけて、自分で学ぶ」という事です。新しい学習指導要領では、「主体的に学ぶ力」を身に付けることを目的にしています。「主体的」というのは、「自分で考えてよいと思ったことを行う」ことで、積極的とか自主的よりも、自分から進んで、自分で考えて行うという意味の言葉です。つまり、小中学校の義務教育9年間を通して、「教えられて勉強する」から「自ら学ぶ力」をつけると言ってもよいかと思います。それは、大人になっても学び続けていかなければ、仕事自体もままならなくなる、という社会の変化に対応する力となっていきます。

先生たちも、この社会の変化に対応できるよう、実際のオンライン授業を行いながら、失敗したり成功したりを繰り返して、よりよい方法を学んでいきます。また、技術の進歩が今までの失敗を防いでくれるように進歩していくと考えられます。しかしどこまでいっても、教室に集まりリアルな環境でやりとりのある授業よりも優れた授業がオンラインで展開できるとは思えません。オンラインは、普段つながらない人たちとつながって学習できるようにするための便利なツールだと考えています。なんとか、このコロナ禍の危機的な状況の中でも、子供たちの学びを止めないようにするツールとして活用していきますが、先生方と保護者の皆様とで共通して育てる子供の力は、「自ら学ぶ力」として取り組んでいきたいと思っています。ご理解とご協力をお願いします。

昨日の全校朝会では、自分で課題を見つけて、自分で勉強することがとても大切で、そのためのコツとして、好きな勉強・得意な事から始めなさい、という話をしました。好きな事を2つしたら、苦手なことを1つ行う、「好きな事、好きな事、苦手な事」とやるといいですよ。勉強することは必ずつながっているので、好きな事をやり続けると苦手な事も克服していくことにつながる、というお話をしました。そして、読書をたくさん行い、知らない世界をたくさん知ることが大切だと伝えました。

コロナ禍は、ここ数年は形を変えながら続いていくと予測されています。コロナ禍に幼少期を過ごしたから何かができなかったということは避けたいです。できる限り、様々な学習活動を工夫しながら行っていきたいと考えています。前例の無い、正解の無いことに挑戦しながら進む学校です。その中でしっかりと子供たちには、「主体的に学ぶ力」を身に付けていきたいと考えていますので、ピンチをチャンスととらえ、子供一人一人に合った形で「自ら学ぶ姿」をすこしでも伸ばしていきたいと思っています。ご協力のほどよろしくお願いします。

学校の電話は午後6時以降に留守番電話となります。夜間や土日に、新たに感染が確認された場合には、コロナ専用緊急電話 070-7789-5798 に連絡をお願いします。子供たちの感染状況では、38度程度の発熱がある場合、すぐに熱が下がっても感染しているケースが多く、発熱の場合は医療機関を受診していただきますようお願いいたします。

感染しない、させない工夫をお互いに行うとともに、感染した皆さんにおかれましては、症状が重くならないことと、一日も早い回復を祈念しております。